

秩父病院での研修を終えて

埼玉医科大学総合医療センター 初期研修医 G.Y.

私が秩父病院での研修を選択した理由は、生まれ育った埼玉県の地域医療を最も身近で学ぶことができ、かつ大学病院よりもより患者さんとの距離が近い医療を経験したいと考えたためです。

1か月間、外来診療に重点をおいて学ばせていただきました。普段自分が行う外来診療は、救急外来で命にかかわるかどうかの判断をし、再診のない1回限りの診察ばかりでした。そんな中で、初診の患者さんの診察・検査、場合によっては侵襲的な処置を行い、その後も継続的に外来でフォローをするという経験は、自分にとっては大変新鮮な経験であり、今後医師として仕事をするにあたり、大変貴重な経験になったと考えております。その人が入院せずに内服のみで改善するにはどうしたらよいか、外科的処置を行った後に、その傷を自宅でどのように扱えばよいかなど、いざ患者さんやその家族に質問されるとわからないことばかりで、先生方や看護師さんに助けられてばかりでした。特に外科的処置などは、大学病院でなかなか継続的にみることができないため、大変貴重な経験でした。

病棟に関しては、先生方と術後の方や入院となった方を一緒に見させていただきました。先生方が自分たちにまかせていただく部分も多く、いざ自分が判断するとなると、どの薬がよいのか、本当にこうしてよかったのかと迷う部分がたくさんありました。今後さらに勉強と経験を重ねて、自分で判断できるようになりたいと考える毎日でした。手術に関しては、内視鏡のカメラ持ちをやらせていただき、なれないカメラ持ちで先生がたにたくさんご迷惑をおかけしましたが、解剖を考えながら先生方と一緒に手術ができる時間は大変楽しい時間でした。

また、地域医療という面で、小鹿野中央病院に行かせていただき、在宅医療を見学させていただけたのは貴重な体験であったと思います。高齢者が多く、交通の便もない地域の中で、慢性期の患者さんが自宅で過ごしながらか医療を受けることができるというのは素晴らしいことだと思います。もちろんそれは医療者側にとって簡単なことではなく、秩父病院でも在宅医療を開始する案について、先生方やスタッフの方々が議論を重ねている様子を実際に見させていただき、その大変さを実感いたしました。

地域医療という面では、自分は埼玉県医師育成奨学金を貸与しており、その奨学金を通じて、地域医療をより発展させようとしてくださっている、花輪理事長のお話を聞かせていただけたことも、とても貴重な経験であったと思います。

どのスタッフの皆様も慣れない未熟者の自分に対して、優しく接して下さり、様々なことを教えて下さり、とても充実した1か月間を過ごすことができました。1か月間と短い研修機関ではありましたが、一生忘れられない1か月間になると思います。

最後になりましたが、1か月間主に面倒を見て下さり、食事もたくさん誘ってくださ

った、山田先生、大野先生ありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしています。

1か月間ありがとうございました。